

家紋がモチーフの和雑貨を提案

京の伝統美をMONブランドで発信

PLANNING & DESIGN 山倉

代表 山倉かずみさん



山倉かずみさん

折り紙や家紋をモダンなデザインに

日本の各家に代々伝わる「家紋」には多くの種類の文様があります。それぞれにいわれや物語が込められ、そこには今もすたれていない日本人の心意気と誇りを感じさせます。その家紋をモチーフにしたデザインを生みだし、新しい和のライフスタイルを提案しようとプライベートブランド「MON」を立ち上げたのが、「PLANNING & DESIGN 山倉」の代表、山倉かずみさんです。

ファンドの平成20(2008)年度・21(2009)年度と連続採択により、折り紙から発想されたデザイン座布団「ZABU・SHION」の開発と市場開拓、そして家紋をモチーフにした雑貨など、ブランド「MON」の本格的な市場への営業展開を実現。同ブランドを広めるためにホームページ、カタログ制作などの広告宣伝、そして生地などこだわりある原材料の起用を支えたファンドは、JR東海とのコラボ企画など具体的な商談への道を拓きました。平成22(2010)年5月に京都市内の町家にオープンしたアトリエ(兼事務所)をはじめ、webショップや各地でのフェア、イベントなどへの出展によって全国にファンを増やしています。



折って伸ばして幾通りにも使えるZABU・SHION

伝統美を現代の生活スタイルに融合

山倉さんは代表であると同時に、ビジネス視点でファッションの世界に携わってきたテキスタイルデザイナーです。平成13(2001)年、京都の呉服メーカーの意匠企画室で着物の商品開発を手がける中、「紋図帳」をひもとく機会を得ます。そこで各家に伝わる種々の家紋をデザイン化し、新作シリーズとして発表。斬新と評価されましたが、販売には思うようにつながりませんでした。「でも見れば見るほど、じっくりと調べるほどに紋はおもしろいモチーフなんです。シンプルかつ幾何学的な紋様には歴史的な意味合いや、言葉のしゃれ遊び、伝説などが背景にきちんとあり、奥深さを知りました」と山倉さん。

伝統製品の活用

女性起業

家系を伝える大切な印として家紋にはさまざまな想いがあり、例えば、桜紋には散りゆく花や日本人の心、陽光に照らされた山桜など情緒豊かな表現がそこにはあります。「フランスの老舗ブランドがバッグの柄に取り入れるなど、海外の人をも魅了した紋です。その美しさを日本人である私ならより幅広く現代のライフスタイルに提案できると感じました」。そして平成18(2006)年、古都で培われた伝統美と現代のライフスタイルが融合したZABU・SHIONを代表とするブランド「MON」を立ち上げることに。



家紋をモチーフにしたMONのスクーター

戦国ブームも追い風に

ZABU・SHIONは、山倉さん独自のアイデアとデザインから生まれたものです。折り紙をモチーフにしたというだけに「折って、伸ばして、楽しく使う」と、幾通りも表情を変えられる商品。日本の伝統的な座布団と欧米のクッションを融合させた、今の暮らしに和み感を添えるグッズです。上に座る、枕にする、ソファの背あて、抱き枕、またお部屋のインテリアにもおしゃれです。

また、伝統柄の家紋をカラフルかつモダンなデザインで、スクーターやトートバッグ、ポシェット、小物入れからタペストリー、カーテン、クッションなどを制作。古くさいをモダンに、伝統を暮らしに溶け込ませたほか、機能性や使いやすさから女性だけでなく、男性からの支持も増えつつあります。さらに最近では戦国ブームも追い風となり、現代感覚を取り入れたMONの家紋シリーズは、より幅広い層からの注目を集めました。「山倉さんの着眼点や発想力がファンドの審査員に高く評価され、商品の訴求力に期待がもてた」とファンドの担当者は語ります。山倉さんの手がけたZABU・SHIONや家紋雑貨は、伝統産業の新たな活路を拓けたと言えるでしょう。



MONのカジュアルシリーズは若い層にも人気

京都の職人が支えるブランド

現在、店舗としては平成22(2010)年に移転した京町家の工房をメインに、四条倭美座、伊丹空港内グリアス南店、京都デザインハウスなどで取り扱われています。またネット通販、イベント出展など前向きな販売促進を展開。しかし、まだいくつかの課題も抱えます。

ZABU・SHIONを手にとったお客様から「もう少し安ければ買うのに」といった声も聞かれ、それを反映するかのようにならなコピー商品も登場したといえます。「小ロットしか扱っていないので、どうしても値段が高くなってしまふんです。でも、「手ごろな値段でたくさん売る」という販売方針に切り替えていきたい」と山倉さん。これまで本体とカバーを別売りしていましたが、一体化した商品を開発し、価格設定を2分の1に抑えるなど、価格の見直しに取り組み中。また、これまで個人販売が中心でしたが、企業との業務提携なども視野に入れ、新たな販路の開拓にも力を入れています。

「今後は、染めシリーズの新しい柄や、日本の織りを活かした織シリーズの充実を図りたい」という山倉さん。ジャポニズムをうまく取り入れた、海外のデザイナーの作品を目にすると、嬉しさと同時に「それは日本人自身がやらない」という気持ちになるといいます。「京都の産業を土台にしたMONには、職人の方々の素晴らしい技術という強みがあります。それを支えに、世界に通用する伝統美を活かしたブランドを発信するのが夢です」。連綿と伝わってきた日本の家系模様が世界のライフスタイルを彩る——web時代、夢は意外と間近に迫っているのかもしれない。

事業概要

PLANNING&DESIGN 山倉

<http://mon-kazumi.com/>

代表：山倉かずみ

業種：企画 デザイン業 雑貨製造販売 卸業

創業：平成18(2006)年

住所：〒602-8167

京都市上京区下長者町通二本松町4-11

TEL：075-406-0137 FAX：075-406-0137